

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和5年度

1 基本情報

公の施設名	相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）、相模原南市民ホール、小田急相模原駅文化交流プラザ
指定管理者名	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
施設設置条例	相模原市立文化会館条例、相模原市立市民会館条例、相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ条例
施設の設置目的	文化会館：市民が芸術文化を鑑賞し、及び文化活動を行う場を提供し、もって文化の香りあふれる都市の創造に寄与するため 南市民ホール：市民の文化の向上及び福祉の増進に寄与するため 小田急相模原駅文化交流プラザ：市民が行う参加、体験型等の多様な文化、交流活動などを通して、市民の文化の向上及び相互交流の促進に寄与するため
施設概要	相模原市文化会館 ・所在地 相模原市南区相模大野4-4-1 ・敷地面積 9,842.90㎡ ・延床面積 文化会館14,725.99㎡ 図書館3,723.92㎡ メディカルセンター3,787.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 ・主な施設 1～4階 大ホール（1,790席または1,240席として利用可） 2階 多目的ホール（可変床 移動席240席） 地下1階 リハーサル室、練習室 相模原南市民ホール ・所在地 相模原市南区相模大野5-31-1 ・敷地面積 7,596.61㎡ ・ホール延床面積 1,476.68㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階（うちホール部分1～3階の一部） ・主な施設 ホール（400席） 小田急相模原駅文化交流プラザ ・所在地 相模原市南区南台3-20-1 ・敷地面積 5,278.58㎡ ・延床面積 888.11㎡（うち文化交流プラザ専有面積489.73㎡） ・構造 鉄筋コンクリート造 地下3階地上4階（うち文化交流プラザ部分は4階） ・主な施設 多目的ルーム、ミーティングルーム1・2
施設所管課	文化振興課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	503,306	490,163	385,569	84,513	233,956	281,091	344,773
利用料金合計（円）	178,153,081	173,602,098	145,879,981	58,828,569	156,715,660	155,195,223	176,111,857

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	指標1と指標2の達成度の平均が87.5%となっていることからC評価とする。 指標1の来場者満足度について、とても満足したと回答した人に満足と回答した人を加えた割合は97.9%となっており、高い数値を保っているが、指標となっているとても満足した人の割合は3.1ポイント減少している。 指標2の利用率は、0.8ポイント減となっている。

指標名（単位）	企画提案文化事業来場者の満足度（％）
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度（「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合）を成果指標とする。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）			76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値（％）	72.9	77.0	68.6	65.6	71.1	68.4	65.3
達成度（％）			90.3%	85.2%	91.2%	86.6%	81.6%

※（参考）2番目に高い満足度を含めた場合（とても満足＋満足）

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値（％）	98.3	98.3	98.5	97.6	98.6	98.1	97.9

指標2	※感染症蔓延に伴う外出自粛等の影響を受けているため、R3年度は評価対象外とする。
指標名（単位）	相模原市文化会館（大ホール及び多目的ホール）、相模原南市民ホール、小田急相模原駅文化交流プラザ（多目的ルーム）の平均利用率（％）
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、（利用日数・利用可能日数）にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値（％）	88.7	88.7	89.9	56.5	78.0	86.7	85.9
達成度（％）	96.4%	96.4%	97.7%	61.4%	84.8%	94.2%	93.4%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	達成度が125%となっていることからS評価とする。 事業の実施回数、内容ともに充実している。また、舞台操作等のノウハウを生かした自主事業も実施している。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等					評価
各施設の規模及び地域性を生かし、伝統文化や優れた芸術作品を鑑賞する機会を市民へ提供する舞台芸術公演事業（16回以上）		相模原市文化会館： 51回 相模原南市民ホール： 5回 小田急相模原駅文化交流プラザ： 3回 計 59回					◎
劇団四季ミュージカル 『クレイジー・フォー・ユー』	8 月 26 日(土)	演劇・舞踊	文化会館 大ホール	定員 1,790	1回	1,600 人	
	カンパニーならではの高度な演出・音響・照明の技術を用いて、優れた舞台芸術の鑑賞機会を市民に提供することができた。						
日本フィルハーモニー交響楽団 第 21 回相模原定期演奏会	9 月 17 日(日)	クラシック	文化会館 大ホール	1,790	1回	1,057 人	
	1,000人以上のお客様が来場した。アンコールは楽団・ソリスト共に「故郷」をモチーフとした楽曲を演奏し、スタンディングオベーションとブラボーが飛び交い、非常にクオリティの高い公演を提供することができた。						
ずっと真夜中でいいのに。 原始五年巡回公演 喫茶・愛のペガサス	9 月 21 日(木)	軽音楽	文化会館 大ホール	1,790	1回	1,527 人	
	9 月 22 日(金)			1,790	1回	1,627 人	
	10代～20代までの若年層を対象としたアーティストを誘致した。各日1,500人を超える来場となり、新たな顧客層の開拓に成功した。						
オリックス宮内財団 presents アキラさんの“お楽しみ”コンサート (クローズド公演)	11 月 3 日(金・祝)	クラシック	文化会館 大ホール	1,790	1回	909 人	
	特別支援学校に通う児童・生徒に向け、視覚的にも芸術性の高い公演を提供し、地域の社会福祉に大きく貢献することができた。						
宝塚歌劇 花組公演全国ツアー 相模原公演	12 月 1 日(金)	演劇・舞踊	文化会館 大ホール	1,790	1回	1,675 人	
	12 月 2 日(土)				2回	1,695 人	
	12 月 3 日(日)				2回	1,695 人	
						1,754 人	
	全5回公演全て満席であり、約8500人のお客様にご来場いただけた。市民ニーズが高く、豪華な演出で大ホールならではの公演を開催することができた。						
午後のうるおいコンサート 古海行子 ピアノリサイタル	12 月 20 日(水)	クラシック	文化会館 大ホール	1,790	1回	546 人	
	地元出身の新進気鋭のアーティストのコンサートを開催し、「聴衆層の裾野の拡大」だけでなく、シビックプライドにも貢献できた。						

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 For Future巡回公演シリーズ 相模原 公演	12 月 24 日(日)	クラシック	文化会館 大ホール	定員 1790	1回	1,200 人	
	県内のプロオーケストラとの連携事業。12月の風物詩ベートーヴェンの「第九」を演奏し、1200人のお客様に質の高いクラシック公演を提供し、シティブランドの牽引にも繋がった。						
相模原南市民ホール開館 40 周年記念 在日米陸軍軍楽隊コンサート	9 月 27 日(水)	軽音楽	南市民ホール	394	1回	343 人	
	「開館40周年記念ポスター展」と同時開催した。ホール始まって以来初となるビッグバンドによる華やかな演奏で、日米親善の一助となるコンサートとして市民の文化に親しむ機会を提供することができた。						
相模原南市民ホール開館 40 周年記念 神田伯山独演会	10 月 14 日(土)	伝統芸能	南市民ホール	394	1回	383 人	
	人気講師による公演を行うことにより、市民の文化に触れる機会の充実をはかり、周年事業にふさわしい公演を開催することができた。						
おださがロードフェスタ プレイバント おださがミニ・ライブ 2023 フォルクローレの風『ソニャドーレス』	10 月 7 日(土)	軽音楽	文化交流プラザ 多目的ルーム	160	1回	122 人	
	初めて来館した来場者の割合が4割となり、施設の周知や賑わいの創出、市民への気軽な鑑賞機会を提供することができた。						
市民自らが芸術文化活動に参加し、相互に交流できる機会を提供するなどの市民の自主的な活動の支援に関する事業（3回以上）			相模原市文化会館： 23回 相模原南市民ホール： 5回 小田急相模原駅文化交流プラザ： 3回 計 31回				○
宇宙科学エトセトラ ～みんなの宇宙 深体験パビリオン～	5 月 6 日(土)	その他	文化会館 大ホール	定員 1790	1回	405 人	
	JAXAの活動を支援する連携事業を実施した。子ども向けのロビー展示を充実させ、大人だけでなく子どもも含めた幅広い年齢層へのシティーセールスに貢献できた。						
鈴ヶ舎美馬 ニツ目落語昇進会	1 月 13 日(土)	伝統芸能	文化会館 大ホール	1,790	1回	614 人	
	地元出身の落語家の公演を共催開催することで、相模原市民の生活文化及び伝統芸能の振興に寄与し、市民の自主的な文化活動を支援することができた。						
SAGAMIHARA ROCK FESTIVAL コンテスト ステージ	1 月 27 日(土)	軽音楽	文化会館 多目的ホール	240	1回	150 人	
	青少年への演奏機会を提供するとともに、審査員も全員相模原にゆかりのあるアーティストで、地元への愛着を深める機会となった。						
第 5 回宇宙フェスタさがみはら in 相模 原市立博物館宇宙落語&スペシャルトーク	3 月 3 日(日)	その他	市立博物館	200	1回	195 人	
	JAXA・相模原市立博物館の活動を支援し、相模原市のシティーセールスに貢献した。また、博物館でアウトリーチ活動を実施することで、文化に触れる市民の裾野の拡大や街のにぎわいに貢献した。						
歌舞伎まなび塾 ～大歌舞伎公演鑑賞の手始めに～	6 月 24 日(土)	伝統芸能	南市民ホール	394	1回	71 人	
	文化会館の事業と連携した事業として、上演演目の理解を深める機会を提供できた。						
さがみ風っ子文化祭 中学校演劇発表会 中学生のための舞台技術ワークショップ	7 月 25 日(火)	演劇・舞踊	南市民ホール	394	1回	163 人	
	7 月 26 日(水)				1回	220 人	
	財団の専門性を生かし、音響設備や効果について、参加者が舞台上で演技をしながらその効果を体験できる参加型のワークショップを開催し、次世代の文化を担う青少年の文化活動を支援することができた。						
	7 月 27 日(木)	演劇・舞踊	南市民ホール	394	1回	482 人	
7 月 28 日(金)	1回				388 人		
3日間でヴァイオリンが弾けちゃうかも？！夏休み楽器体験 in さがみはら	7 月 25 日(火)	クラシック	文化交流プラザ 多目的ルーム	10	1回	10 人	
	7 月 26 日(水)						
	7 月 27 日(木)						
初心者向けのヴァイオリン体験ワークショップを開催することで、とかく敷居が高いとされるクラシック音楽を身近に感じてもらえる良い機会になり、次代を担う青少年の心豊かな音楽活動の促進及び相模原市の文化の振興に寄与することができた。							

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
自動販売機設置	4月から1年	相模原市文化会館：6台 相模原南市民ホール：1台 小田急相模原駅文化交流プラザ：1台 計8台	○
文化会館職員の 講師等派遣業務委託	5月27日 11月25日	ホールの利用者に対し舞台照明設備を理解し、安全かつ確実に操作することができるよう、相模原市青少年学習センターより講習会の講師派遣の依頼を受け、専門知識を有する文化会館職員を派遣する業務を行った。 回数：各日3回（計6回） 参加者：5/27 30名、11/25 30名	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	達成度が109.8%となっていることからA評価とする。 前年度に引き続き高い水準を保っており、円滑な施設運営がなされていると評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	施設利用者に対するアンケートの実施 調査手法：利用者へのアンケート用紙配布 調査時期：令和5年6月1日（木）～6月30日（金） 配布枚数：185枚（回収枚数182枚、回収率98.4%）
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」、「ふつう」と回答した方の割合の合計

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（％）	94.6	96.5	99.3	98.9	99.3	99.0	98.8
達成度（％）	105.1%	107.2%	110.3%	109.9%	110.3%	110.0%	109.8%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	施設にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望等を随時受け付けている。 受け付けた内容については会議で共有を図り、対応に努めている。
ホームページ お問い合わせフォーム	通年	施設のHPにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取組を行っている。

6 施設の経営状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
C	全体収支、本体収支がともに赤字、指定管理者本体の決算も赤字となっており、経営状況に若干の懸念があることからC評価とする。施設の収支については、物価高騰の影響を受けている面もあり、やむを得ないものとする。 【選考委員会意見】 改善しているものの赤字解消には至らず。人件費や物価高騰など外部要因の影響もあり、今後の赤字脱出も困難とみられることから、評価Cが妥当。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		568,539	531,180	535,899
指定管理料		280,620	275,440	275,530
利用料金収入		156,716	155,195	176,112
その他の収入		131,203	100,545	84,257
支出 (b)		532,536	536,955	540,717
人件費		85,829	87,058	87,679
本社管理経費		14,316	15,075	16,349
その他の支出		432,391	434,822	436,689
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		36,003	-5,775	-4,818
自主事業収入 (d)		1,822	2,115	2,417
自主事業支出 (e)		280	317	282
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		1,542	1,798	2,134
全体収支 [(c)+(f)]		37,545	-3,977	-2,684
備考	利益還元事業として文化会館・大ホール舞台機構昇降用インバーター更新修繕(2,970,000円)を実施			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング	
実施時期	令和5年12月19日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したこともあり、移行後の文化事業の実施及び施設の管理運営においては、コロナ禍前と概ね同様に行うことができた。施設の設置目的や条例等を十分に理解し、適切な施設利用事務を行い、施設の催し物の情報や空き日の情報をホームページで公開するなど利用者増加に努め、これまで同様に多くの方に利用いただいた。また施設や設備を保つために日常管理を行うとともに、定期点検を計画的に実施し、安全な説を維持することができた。

事業実施にあたっては、相模女子大学グリーンホールでは、大ホールならではの市民ニーズの高い「劇団四季」、「宝塚歌劇」、「松竹大歌舞伎」「日本フィルハーモニー交響楽団」など幅広いジャンルの公演を開催し、相模原市のシティブランドの牽引役の役目を果たす事業を開催した。地元アーティストを起用した事業として、相模原市出身のピアニスト古海行子によるコンサートや、同じく相模原市出身の落語家鈴々舎美馬による落語会を開催した。また障害のある子ども達とその家族を対象としたクラシックの招待公演を開催した。

相模原南市民ホールでは、開館40周年事業として小規模ホールの特性を生かした「神田伯山独演会」や人気公演の在日米陸軍軍楽隊スペシャルコンサートを開催した。また相模原市教育委員会及び市内中学校と連携し、財団職員による舞台技術ワークショップを中学生を対象に行った。

小田急相模原駅文化交流プラザでは、地域に開かれた文化交流施設として、初心者向けのヴァイオリン体験ワークショップ「夏休み楽器体験 in さがみはら」や、地域の子ども向けに「おださがキッズスペシャル2024」を実施した。

利益還元事業として大ホール舞台機構昇降用インバータ更新修繕（2,970,000円）を実施することで、良質な施設の環境整備において市民へ利益の還元を行うことができた。

10 所管課意見

施設管理について、利用者満足度も高く円滑な施設運営がなされていることを評価する。

ホール等の利用率について、前年度よりわずかに減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の利用率までは回復できていないことから、まずはコロナ前の数値を目標に利用率向上に取り組んでいただきたい。

事業については、回数、内容ともに充実している。JAXAや博物館等、外部の機関と連携した事業も展開しており、多岐にわたるジャンルの催しを実施できている。また、古海行子氏や鈴々舎美馬氏といった本市出身の若手アーティスト等の活躍を後押しするなど、地域の文化芸術活動の活性化及び次代の文化芸術を担う人材の育成にも貢献していただいている。

施設の収支について、前年度に引き続き赤字となっているが、光熱水費をはじめとする物価高騰の影響が続いていることによるもので、やむを得ないものとする。

11 選考委員会意見

企画提案事業について、多彩なジャンルの公演が行われており、充実した内容になっている。南市民ホールでは、ポスター展を行うなど施設の特性に合わせて工夫した企画も見られる。

利用者数はコロナ後回復しているものの、コロナ前の人数までには至らない。コロナ禍に交付されていた補助金が無くなってしまった現状、収支の黒字化については厳しい状況である。文化会館は収容人数が多いため、企画によっては当たりはずれが出てしまい、収支へ大きな影響を与えてしまう。劇団四季、宝塚、日本フィルハーモニーのような知名度のある公演を定期的に行いながら、新たな公演を発掘し、公演ごとの収支をフィードバックしていく必要がある。

利用率や利用者数については、伊勢丹相模原店の跡地のマンション建設工事も要因の一つになっているかもしれないが、利用者への周知や工事業者との調整などが丁寧に行われ、利用者への影響が最小限に抑えられている。

